



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東  
 コード番号 2708 URL https://www.kuze.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)市川 明夫 (TEL)03(3987)0018  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,725	△43.4	△1,692	—	△1,504	—	△1,561	—
2020年3月期第3四半期	50,761	1.4	239	30.0	362	21.3	267	18.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,537百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 238百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△421 92	—
2020年3月期第3四半期	72 29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,597	3,775	18.3
2020年3月期	18,060	5,335	29.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,775百万円 2020年3月期 5,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0 00	—	6 00	6 00
2021年3月期	—	0 00	—		
2021年3月期(予想)				—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	40,500	△37.1	△2,200	—	△2,000	—	△2,100	—	△567	36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	3,882,500株	2020年3月期	3,882,500株
2021年3月期3Q	181,118株	2020年3月期	181,118株
2021年3月期3Q	3,701,382株	2020年3月期3Q	3,701,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する安定的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、当初は新型コロナウイルス感染症第2波が一旦小康状態となり、政府主導の「Go Toキャンペーン」等の需要喚起策の影響もあって、若干の景気回復の兆候も見られました。しかしながら、11月後半から年末に向けて新型コロナウイルス感染症第3波の急速な広がりがあり、最大の商戦期である12月に重なったことから、外食・旅行・交通業界を中心に再び厳しい環境となりました。

このような状況の中、当社は中期経営計画「第4次3ヶ年中期経営計画」の最終年度として新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、落ち込んだ収益構造の立て直しに全社一丸となって取り組んでまいりました。新規外食得意先の開拓はもとより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい、老健施設やスーパーマーケット、惣菜店との取引深耕・開拓を推進するとともに、新規アプリの開発を通し、お客様により迅速で的確な情報提供のできるシステム環境整備といったDX化にも取り組んでまいりました。これらの対応により、2020年10月から12月迄の第3四半期連結会計期間は、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間比大きく改善致しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は287億25百万円（前年同期比43.4%減）、営業損失は16億92百万円（前年同期は2億39百万円の営業利益）、経常損失は15億4百万円（前年同期は3億62百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は15億61百万円（前年同期は2億67百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおける消費動向は、第3四半期に入った当初は「Go Toイートキャンペーン」等の効果もあり復調傾向がみられましたが、その後、第3波の新型コロナ感染症拡大となったため消費拡大にブレーキがかかってしまいました。また在宅勤務の定着によるオフィス街での消費低迷や、外国人観光客の大幅減少に伴うインバウンド需要の低迷状態が継続し、消費回復の足取りは鈍くなりました。このような状況にあって、比較的好調を維持している業態への販売活動を推進するとともに、物流経費をはじめとする各種経費の抑制に努めてまいりました。

このような結果、売上高は257億36百万円（前年同期比45.2%減）、セグメント損失（営業損失）は12億円（前年同期は5億38百万円のセグメント利益）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食品製造を行っております。第3四半期に入り、外食向け及びコンビニエンスストアの弁当・惣菜製造業向けの販売は、全体では前期比減収となったものの月を追うごとに前期との差は縮まってまいりました。一方、ホテル・結婚式場向けの販売は低迷した状態が続きました。また、様々な業種の事業者が取り組む通販・EC事業向け販売は大きな伸びとなりました。これらの販売促進活動とともに製造費用や運賃・保管料等の抑制にも取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は29億98百万円（前年同期比22.3%減）、セグメント利益（営業利益）は1億28百万円（前年同期比69.4%減）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億4百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益（営業利益）は60百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ25億37百万円増加し、205億97百万円となりました。これは主として現金及び預金が16億14百万円、受取手形及び売掛金が5億83百万円、商品及び製品が3億41百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ40億97百万円増加し、168億22百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が16億59百万円、短期借入金が23億30百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ15億59百万円減少し、37億75百万円となりました。これは主として、利益剰余金が15億83百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は18.3% (前連結会計年度末29.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689	5,303
受取手形及び売掛金	5,039	5,622
商品及び製品	2,382	2,723
原材料及び貯蔵品	211	261
その他	613	589
貸倒引当金	△43	△20
流動資産合計	11,892	14,479
固定資産		
有形固定資産	2,417	2,445
無形固定資産	476	515
投資その他の資産		
投資有価証券	1,703	1,617
その他	1,700	1,681
貸倒引当金	△131	△142
投資その他の資産合計	3,273	3,156
固定資産合計	6,167	6,117
資産合計	18,060	20,597
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,232	8,892
短期借入金	510	2,840
1年内返済予定の長期借入金	1,224	1,171
未払金	982	1,032
未払法人税等	97	37
賞与引当金	232	64
その他	339	345
流動負債合計	10,619	14,382
固定負債		
長期借入金	1,207	1,522
役員退職慰労引当金	193	198
退職給付に係る負債	240	240
資産除去債務	86	87
その他	379	390
固定負債合計	2,106	2,439
負債合計	12,725	16,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	253	253
利益剰余金	4,449	2,865
自己株式	△151	△151
株主資本合計	4,853	3,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	530
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	△75	△20
退職給付に係る調整累計額	△8	△5
その他の包括利益累計額合計	481	505
純資産合計	5,335	3,775
負債純資産合計	18,060	20,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	50,761	28,725
売上原価	40,405	22,714
売上総利益	10,356	6,011
販売費及び一般管理費	10,116	7,703
営業利益又は営業損失(△)	239	△1,692
営業外収益		
受取事務手数料	55	29
受取配当金	29	19
物流業務受託収入	28	17
雇用調整助成金	—	144
その他	81	86
営業外収益合計	194	298
営業外費用		
支払利息	7	20
支払手数料	—	30
物流業務受託収入原価	42	35
貸倒引当金繰入額	—	20
その他	22	2
営業外費用合計	72	109
経常利益又は経常損失(△)	362	△1,504
特別利益		
投資有価証券売却益	54	0
特別利益合計	54	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	51
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	7
特別損失合計	0	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	416	△1,563
法人税、住民税及び事業税	103	21
法人税等還付税額	—	△44
法人税等調整額	42	21
法人税等合計	145	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	270	△1,561
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	267	△1,561



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	270	△1,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△36
繰延ヘッジ損益	△4	3
為替換算調整勘定	△41	54
退職給付に係る調整額	2	3
その他の包括利益合計	△32	24
四半期包括利益	238	△1,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236	△1,537
非支配株主に係る四半期包括利益	1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場は、昨年2月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、4月の政府の「緊急事態宣言」発出等に伴う営業自粛要請により客数の急減に見舞われました。

「緊急事態宣言」解除後も、一時的な感染者数の減少はあったものの、6月下旬から9月にかけての第2波、11月下旬以降の第3波の感染症拡大があり、先行き不透明な状況が続いております。特に第3波の感染症拡大は、外食市場の年間最大の商戦期に重なり、東京都をはじめとする大都市で出された「Go Toキャンペーン」事業の停止、更に全国11都府県にまで拡大した2回目の「緊急事態宣言」は、市場に大きな影響を及ぼしております。

その結果、当社グループにおいては、第1四半期、第2四半期に続いて当該第3四半期も業績面で大きな影響を受けました。現時点では感染症拡大の終息が見通せず、当社が把握している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、当該業績は2021年4月以降徐々に回復すると仮定した将来の課税所得に基づく繰延税金資産の回収可能性及び将来のキャッシュ・フローに基づく固定資産の減損会計等の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響については不確実性が大きく、仮定と異なった場合、翌連結会計年度の財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	46,901	3,856	3	50,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	102	123
計	46,922	3,856	105	50,884
セグメント利益	538	419	77	1,035

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,035
セグメント間取引消去	9
全社費用(注)	△805
四半期連結損益計算書の営業利益	239

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	25,724	2,998	2	28,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	—	101	114
計	25,736	2,998	104	28,839
セグメント利益又は損失(△)	△1,200	128	60	△1,012

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△1,012
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△691
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。